

日本救急医学会関東地方会 平成 28 年度 幹事会 議事録

日 時：平成 28 年 2 月 6 日（土） 12:00～13:30
会 場：都市センターホテル 第 1 会場（3F コスモス I）
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 丁目 4-1
TEL：03-3265-8211

出席役員

常任幹事：森村 尚登（常任幹事長）、横田 裕行（会長）、田中 裕、藤島 清太郎、松田 潔
三宅 康史、矢口 有乃、小野 一之（次期会長）
監 事：坂本 哲也、山口 芳裕

以上のとおり、出席者を確認し、会則第 17 条の規定により、森村 尚登 常任幹事長が議長となり、議長が開会を宣言し、議事に先立ち議事録署名人として田熊 清継 幹事、久野 将宗 幹事が選任された。

新幹事推薦(森村常任幹事長)

新幹事 12 名の推薦が行われた。今回の候補者については、会員歴、会費納入状況等の資格について事務局が調査済みであり、先に行われた常任幹事会で承認済みであることが報告された。新幹事 12 名が承認され、出席の新幹事 9 名より就任の挨拶があった。

常任幹事・監事改選について(森村常任幹事長)

次期常任幹事 5 名、次期監事 2 名の立候補者が示された。それぞれ会則に定められた定数以下であることが確認され、立候補者全員が次期常任幹事・監事として就任することが承認された。

また、常任幹事について定数 6 名に対し 1 枠空きがあることについて、会則第 18 条にに基づき新常任幹事会にて欠員の補充をおこなうことが説明され、了解された。

《報告事項》

1. 庶務報告(藤島常任幹事)

2015 年 12 月 31 日時点での総会員数は 1,183 名（うち新会員 177 名）、退会者数 171 名（うち 143 名は会費滞納による自然退会）との報告がされた。会員数はおおよそ横ばいで推移している。

2. 各常任幹事担当報告

各担当常任幹事より部会および委員会について活動報告が行われた。

① 看護部会(三宅常任幹事)

看護部会運営委員会・看護部会施設代表者会の開催および予定が報告された。また、次期看護部会運営委員会委員について 2015 年 6 月開催の看護部会運営委員会での方針に従って若干名の委員増を予

定することが報告された。

② 救急隊員部会(松田常任幹事)

本日の第 65 回(平成 27 年)日本救急医学会関東地方会学術集会内で開催予定の第 2 回関東 MC 協議会連絡会議について報告された。テーマを「関東地方における処置拡大2行為の現状と課題」としたシンポジウム形式での会合を実施する予定である。

また、2 月 12 日(金)開催予定の第 53 回救急隊員学術研究会の概要について説明された。

③ SOS-KANTO 委員会(矢口常任幹事)

SOS-KANTO 全体会議・運営小委員会の開催について報告された。

集積された最終解析用 16,452 例のデータをもとに研究発表・論文化が委員会主導で進められており、2016 年 1 月 25 日現在、運営小委員会で PICO 承認されたテーマは 39 件、発表論文は 7 本であることが報告された。

また、次期研究の予定について、①現在の SOS-KANTO 運営小委員会は SOS-KANTO 2012 の解析・論文化に対応するために継続し、1~2 年後に解散を検討する、②次期 SOS-KANTO 委員会の委員長として北村伸哉先生を推薦する、以上 2 点を 2016 年 1 月 14 日開催の運営小委員会で決定したことが報告された。北村新委員長より挨拶があった。

④ 編集委員会(田中常任幹事)

投稿論文数は 80 本で、うち医師部会 61 本、看護部会 13 本、救急隊員学術研究会 4 本、その他 2 本であった。2015 年の学会発表 251 本から 77 本の投稿があり、投稿率は 30.7%であった。昨年 12 月発刊の 36 巻 2 号への掲載論文数 73 本で査読継続 6 本、投稿辞退 1 本、論文受理率は 91.3%であった。編集スケジュールは例年通りであった。

本学術集会より次号掲載分の論文投稿を受け付ける。投稿規定の改定およびタイトルページの新設について、常任幹事会での審議を経て承認されていることが報告された。

また、委員会の委員の更新について報告された。

⑤ ホームページについて(田中常任幹事)

各種更新の実施について報告された。

3. 第 66 回(平成 28 年)日本救急医学会関東地方会について(横田会長)

本日 11 時 45 分現在、医師 391 名、看護師 208 名、消防関係者 9 名の計 637 名の参加登録受付があり、順調に開催されていることが報告された。

4. 第 67 回(平成 29 年)日本救急医学会関東地方会(小野次期会長)

第 67 回日本救急医学会関東地方会を 2017 年 2 月 3 日(金)、第 54 回救急隊員学術研究会を同年 2 月 4 日(土)栃木県総合文化センターで開催予定であると報告された。

《審議事項》

1. 2015 年決算報告(藤島常任幹事)

収入については 700 万円の予算に対し、決算 680 万余円と予算比 20 万円程の赤字となった。赤字の内訳としては会費および広告収入について予算通りの収入が得られなかったことによる。事業費支出については 888 万余円の予算に対し、決算 846 万余円と予算比 42 万余円の支出減であった。事業支出減は主に予算上見込まれていた各種会議等が年度内に開催されなかったことによる。事務費は通信費について予想を超える支出があり、5 万 7 千円程の支出増であった。次年度繰越金は 10,451,487 円であった。2015 年度決算が承認された。

2. 2016 年予算について(藤島常任幹事)

収入については会費収入 650 万円、広告掲載料 30 万円、補助金 20 万円のおおよそ計 700 万余円を見込む。額面は主に前年度決算額を参考に計上した。支出については刊行費 370 万円、地方会補助費 220 万円、会議費 50 万円、交通費 30 万円等々を見込み、支出合計は 888 万余円となる。トータルで 180 万余円の赤字予算となる。2016 年度予算が承認された。

3. 名誉会員推戴について(森村常任幹事長)

有賀徹先生、堀進吾先生を名誉会員として推戴することが承認された。

4. 次々期会長について(森村常任幹事長)

2018 年開催の日本救急医学会関東地方会の会長として森村尚登先生が就任することが承認された。森村次々期会長より挨拶があった。

5. 新規常設委員会設置について(森村常任幹事長)

設置が決定済みの①SOS-KANTO 委員会のデータ集積の終了に伴い、次期の多施設研究や地域に特化した研究のアイデアの受け皿となりコーディネートしていく「多施設研究企画委員会」、②関東圏での災害対応連携強化をめざす関東地方災害医療対応検討委員会の前身としての「関東地方災害医療コーディネーター連絡会議」の 2 新規新設委員会について、現況の報告があり、以降の方針・活動については次期以降の常任幹事会に委ねるとされた。

以上

議事録作成 : 事務局 戸井田 恵一

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成 28 年 2 月 6 日

日本救急医学会関東地方会 平成 28 年度 幹事会

議 長 : _____ 印

署名人 : _____ 印

_____ 印

【捨印】

印

印

印